

■After 建築名称 下段: 英語名	リール市立美術館 Fine Arts Museum of Lille		
建築用途	大分類 展示施設	小分類 美術館	
改修設計者	Jean Marc Ibos, Myrto Vitart		URL
所在地	フランス、リール		Google Map
改修年	1997		撮影者 提供者 柳沢伸也 (2005年)
建築規模	延べ床28,000㎡		概要 after 1892年に建てられたバロック様式の本館の改修に加え、管理棟を増築し両者を地下展示室でつなげたリノベーション。地下のガラスのトップライトは地上部で水盤として機能している。
掲載書誌	『SD 433号 改造建築』2000年10月		
賞・選定	EUミース賞		
■Before 建築名称	The Palais des Beaux-Arts de Lille		概要 before バロックリバイバル様式の建物は、Edouard Bérard (1843-1912) と Fernand Etienne-Charles Delmas(1852-1933) による設計で1892年に完成。1990年代初頭には建物の状態が悪く、改修が必要な状態だった。
建築用途	大分類 展示施設	小分類 美術館	
■写真 Before	After	ガラス箱の奥行き小さな増築棟	After 点光源が埋め込まれたエントランスホール
			
作図	撮影者 提供者 柳沢伸也 (2005年)	撮影者 提供者 柳沢伸也 (2005年)	
■リノベーション内容	キーワード 大規模改修、外観保存、挿入、対比、映り込み	内容 リノベーション前の状態は、ロの字型平面が2つ続く、奥に大きな空間であった。設計者のJ.イーボスとM.ヴィタールは、1930年代と70年代の増築部分を撤去し、地下室と管理棟を増築し、見通しの良い空間を取り戻した。中庭を挟んで建てられた管理棟は、シンプルなガラスの箱で形成され、既存の歴史的な美術館のファサードを反射しつつ、自らの存在感を打ち消している。ガラスの表面は、半分透過し半分反射するという細やかな細工が施され、記号としての歴史的ファサードが管理棟に映し出され、さらにはそこで働く人間の像が透過し、バーチャルな映像が出現している。新しく実物大のスクリーンを建設して、新旧の建物を対比させる手法は他を見ない。	
■備考	EUmiesaward (EUミース賞) の紹介サイト https://miesarch.com/work/282		
■作成者 氏名/所属	柳沢伸也 / JIA再生部会		管理者 記載 SY-023